

決議（案）

山陰近畿自動車道は、京都縦貫自動車道、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道と連携し、地域間交流の促進や防災ネットワークの構築など、地域経済の発展に重要な幹線道路である。

一 昨年の京都縦貫自動車道の全線開通、昨年の野田川大宮道路の開通は、丹後地域に大きなストック効果をもたらした。また、本年4月には、新名神高速道路（城陽く八幡京田辺間）が開通し、京都府の南北が高速道路で結ばれ、観光客の増加など、更なる効果が期待できる。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海国土軸を形成する重要な道路であるにもかかわらず、日本海側唯一の高規格道路「空白地帯」となっており、最も整備が遅れているため、一日も早い全線完成が地域住民の願いである。

府北部では、「北部地域連携都市圏形成推進宣言」を行い、地域循環型の経済成長、生活関連機能の向上に協働・連携して取り組みを行っている。

これらのことから、地域の経済発展、安心・安全の確保及び、国土の強靱化を実現するため、国による早期整備を引き続きお願いするところである。

このため、本協議会会員一同は、山陰近畿自動車道の早期完成を目指し、協議会の総意を結集し、次の事項について、強く要請する。

山陰近畿自動車道の

- 一、大宮峰山道路の事業を推進すること
- 一、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期事業化すること
- 一、豊岡市までの区間について本調査を実施すること

以上、決議とする。

平成二十九年六月二十一日

丹後・地域高規格道路推進協議会